

第 1 号
(発行日 2011 年6月 10 日)

志塾フリースクール

l'avenir

～ ラヴニール通信「ラヴ・ノート」 第1号 ～

△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△ もくじ △▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△

活動についてのご報告 (2010 年4月から 2011 年5月)

Voice —不登校を経験した立場として—

伝言板

編集後記

△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△▽△

こんにちは、ロコです。昨年ドタバタとオープンしたラヴニールも、気がつけばオープンから1年！と今更ながら驚いています。あっという間でした。

最初は正直なところどうなることや、と思っていたのですが、どうにかボランティアさんや参加者と呼べる人たちが集い、日々を送れるようになりました。こんなちっちゃなところやけど、ホンマ、来てくれてありがとう！という気持ちでいっぱいです。

さて、さっそくですがラヴニールでの活動報告をさせていただきます。

夕飯時間帯の会議に差し入れとして持参する目的で、から揚げづくりも。

ラヴニールにはキッチンがあるから、その場でつくって食べることができるのがミリヨク☆



コロッケづくり。じゃがいもを茹でてつぶす、の図☆

活動についてのご報告

○ 日常的に ○

ラヴニールでの日常は、のんびりまったり、という言葉がぴったりでしょうか。

お昼ごはんを食べたり、ゲームをしたり、ラヴニールにあるものを使ったり。誰かがやっているゲームを覗き見して、時には交換してやりあったり。そのとき来ている子によって、様子はだいぶ変わります。

○ Let's Cooking ○

なにげな～一言から、コロッケをつくったり、バレンタインの簡単なお菓子をつくったりしました。

○ お花見(大阪城公園) ○

たまにはお出かけなんぞしてみよう、ということで、ちょうど桜の開花宣言が出たタイミングを見計らい、大阪城公園まで足を伸ばしてみました。

4月にしては暑い日、大阪城公園に着いたらさっそくお弁当を食べ、あとは公園内をぶらぶら。まだ満開にはちょっと早かったものの、春を堪能することができました。

(2011年4月)



○ 野球観戦へ ○

招待を受け、甲子園にて野球観戦☆ 見事にきれいな晴天でした。デーゲームでいちばん気温

的には高い時間帯だけ暑すぎるわけでもなく、割と快適な空気だったんじゃないでしょうか。

阪神はこの日、オーダーをがらっと入れ換えて挑んだ試合だったそうです(後で見たニュースより)。ここまで連敗中でしたが、この日は中日相手に3対1で勝利!

個人的には、同じフィールド上で新井選手が兄弟そらい踏みしたことがうれしくて、藤川球児選手が投げて勝った試合だということがうれしくて(以前投げた姿を見たことはあるけど、引き分けのときの登場でした)、中日だと井端選手、森野選手、堂上剛選手をナマで見れたことが、もうそれはそれは! ひとつ残念だったとすれば、中日の堂上兄弟を同じフィールドで見れなかったことでしょうか…。

そういえば、ひとりだけ、阪神の勝利にフクザツな表情をした人がいたっけ…。

(2011年5月)



甲子園では恒例行事、ジェット風船☆

○ その他イベント、会議など ○

登校拒否を考える

夏の全国合宿 2010 in 福島

毎年恒例行事として参加している、登校拒否を考える夏の全国合宿。2010年大会は、福島での

開催でした。高速バスに揺られること片道 12 時間、会場は磐梯熱海の山あいの緑豊かな場所でした(時折、JR磐越線をSLが走り抜けていました☆)。

ここで1泊2日、ほぼ缶詰で、講演や分科会、シンポジウムなどが開催されます。その間に懇親会があったり、分科会や宿泊した部屋で一緒だった人と話し込んだり。ここに参加される方は、いま不登校の当事者である人、その親(祖父母)の立場の人、OB・OGの立場の人、フリースクールなどのスタッフやボランティアの立場の人、大学生や学校の先生など、様々。合計 600 人ぐらいの人が、同じ場所に集い、様々なことを感じて帰っていきます。

これに並行して開催されるのが、子ども交流合宿と言われるもの。こちらは、フリースペース(広い部屋を借り切って、思い思いのことができる場所☆)があったり、外に遊びに行く企画などもあったようです。大人向けが講演や話し合い中心なのに対して、子ども向けは遊んだり、より交流が中心の合宿ですね。この合宿で友達になった同士、翌年の合宿でも会うことを楽しみにしている、なんていうこともよく聞きます(私もその一人です)。

私は、自身が不登校を経験した当事者でしかないので、親の立場での悩みを知るために、大人向け合宿に参加するのが好きなのですが、今年は大人合宿の中で不登校OB・OGの人たちのシンポジウムがあったりして、これはこれまでになかったことかなあ、と思う部分がありました。例年だと、現在不登校の立場にいる人、その親の人、のシンポジウムが必ずあって、他の立場の人たちのシンポジウムがあったときはあったけど、OB・OGの人たちのシンポって、初めてじゃないのかなあ…。それだけに共感する部分が多く、「そうそう!」って、何度うなずいたことか☆

私がこの合宿で得た感触が、「当事者だった者たちの語り」ということ。…偶然にも、「ラヴニールでできること」と同じでした。(2010年8月)

教えない教育

～「こどものこえ」をきく～

大阪産業創造館にて開催されました。団体の活動の様子などを記したパネル・模造紙等の展示、講演、分科会、子ども向けにさまざまなおもしろい企画(宝探し、こま回しや剣玉などの古典遊び、ダンボールでつくる町、etc.)

ラヴニールも、理念や活動内容をまとめた模造紙を貼らせていただきました。



お手製ですよ♪

バタバタと出入りをしていた関係上、なかなか落ち着いて講演をきく、ということができなかったのが残念です…。でも、ちらりときいた端々には、思わず、そうか！ とうなずいてしまうことがたくさん散りばめられていたので、全体通してきけたら、もっとよかったんだろうなあ…。(2010年12月)

ふりー！すくーりんぐ1泊交流会

ラヴニールは、「ふりー！すくーりんぐ」というネットワークに加入しています。今回は吹田市の自然体験交流センターにて、1泊2日の交流会が開催されました。

1日目は会場近くにある箕面こどもの森学園さんの見学や、焚き火、アクセサリ作り。2日目は主に分科会。短い時間だけど内容はぎっしり詰まった1泊2日でした。

焚き火では、じゃがいも、さつまいも、マシュマロ、パンなどを焼いて食べました。寒い中で食べるホクホクのさつまいもは、甘くて熱くて、とてもおいしかったです☆



あちちっ☆

分科会では、事前に「当事者わいわいがやがや」「オルタナ研究会の報告」など、いくつかテーマを出しておきましたが、当日になってさらに2つほど提案がありました。

私は、「当事者わいわいがやがや」の司会進行という大役をいただき、うまくできたかは「？」マークがつくところですが、この分科会には、不登校の当事者だった立場の人、その人たちの発言を聞きたいという人、フリースクール等にかかわっている人たちが参加しました。不登校だった当事者の立場からは「学校で自分のクラスに不登校の児童・生徒がいたとして、どういうふうに思っていたのか」、学校に行っていた立場からは「不登校だったときに居場所などにはどうやって巡りあったのか」などの質問が出ていました。

(2011年1月)

ふりー！すくーりんぐのサイト

<http://freeschoolring.yukihotaru.com/fsr.html>

日本フリースクール大会ならびに フリースクールスタッフ「研修・養成講座」

日本フリースクール大会とフリースクールスタッ

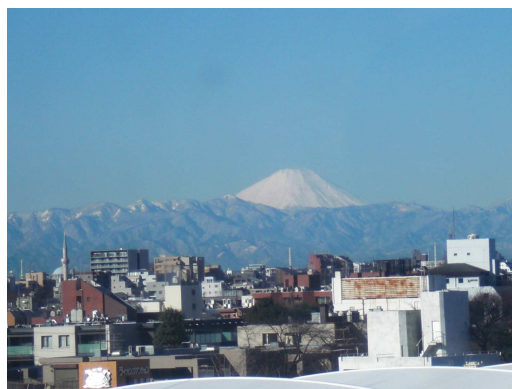
フ「研修・養成講座」が、2泊3日の中で凝縮して開催されました(2日目に、2つのイベントの共催プログラムがある、という形)。この大会、実際に国会でフリースクール環境整備推進議員連盟に携わっている議員さんが来たり、他国のフリースクールを設立された方が来たりと、国会の、それから世界での取り組みが見える場☆ 今年には議員連盟から小宮山洋子さん、アメリカからクロンラスクールを設立されたパット・モンゴメリさんがいらっしゃいました。

パットさんが言っていた大事にしてきたことのひとつ、「Children are people.」という言葉が、いちばん響きました(ここは通訳を介さずに自分でも聞き取れたということで、なおさら印象強いのかも)。子どもだって、ひとりの人間ですよ、というわけで、「すべての人は尊重されなければならない」ですよ(これも、パットさんが言っていた大事にしてきたことのひとつ)。

当たり前なことなんだけど、ここでも、そうそう！ってうなずいている私でした。

他にも、いろいろある中から選んでフリースクールの経営についての分科会に参加したり、養成研修では、かつてこの養成研修に参加したことのある人たちのシンポジウムがあって、フリースクールに関わっているからこそわかることを話していただきました。

たった2泊3日にみっちり凝縮されたプログラムでしたが、不思議と移動などが大変とは感じず、疲れなども感じず…。それどころか、「もっとこの研修にいたい！」なんていう居心地のよさまで感じてしまう始末…。



毎年会場の窓から見える富士山に、誓うのです☆

この居心地のよさは、毎度、私に何よりの「元氣」をくれます。「みんなががんばっている、応援してくれるから、私もがんばろう！」って。本当は疲れているはずなのに、しっかりとエネルギーを充電できたイベントでした。

(2011年2月)

Voice

— 不登校を経験した立場として —

不登校について言われていること、経験してきたこと等、つづっていきます。(無断転載厳禁)
記念すべき第1回目は…

志塾フリースクール ラヴニールでボランティアをしています。

不登校支援でボランティアをしようとした、きっかけは、私自身中学生のとき不登校だったので、フリースクールに興味があり、少しだけでも支援が出来ればと思って始めました。

私が不登校になったきっかけは、中学校に入ったとき、中学の校則が厳しく、それがいやで、学校にいかなくなりました。

その間、市が運営するフリースクールに入って、友達作りを重視し、勉強は少しだけしていました。

その後、全日制の高校に進学し、そこから指定校推薦をもらい今では大学生活を送っています。

今では、不登校だったことは、まったく後悔はしていません。

通っていたフリースクールで、仲の良い友達が作れたことが、今でもとても大きな私の財産になっています。

この、「Voice—不登校を経験した立場として—」では、不定期で、いろんな立場で不登校を経験した方の「生の声」を掲載していく予定です。掲載にあたっては、本人の承諾をいただいた上で掲載をしています。

個人名や年齢などが特定されると編集者が判断した場合、その箇所を編集し、再度本人に確認をとった上で掲載しています。

伝言板

○ 賛助会員・カンパのお願い ○

ラヴニールの活動のため、財政的援助をしていただけると、大変助かります。

ただいま賛助いただいた資金は、これから夏、または冬に向けての冷暖房設備の充実に使用させていただきますと考えております。

南西のカド地にあるラヴニール・・・、夏はそれはそれは暑くなり、今年の猛暑の中では本当に大変でした(使わずに1日締め切った部屋の室温は、いとも簡単に40℃に達していました)。

また、冬は冬で、強烈な底冷えがする場所と変貌します。ガストーブのスイッチを入れたら、室温表示が一桁だったこと、何度も。

ラヴニールとしては、ボランティアさんも含めた参加者の皆さんに快適に過ごしていただきたい、という思いから、賛助会費を募り、そのお金で、冷暖房設備を購入しよう、と考えております。

皆さんからの暖かいお気持ちが、ラヴニールの活動をより充実したものへと発展させるきっかけとなります。

ご支援いただきました場合は、賛助のお礼として通信「ラヴ・ノート」と、イベント情報等を送らせていただきます。

ぜひ、支援をよろしくお願いいたします。

振込み先(郵便振替)

口座番号 00910-1-171298

加入者名 志塾フリースクール「ラヴニール」

それ以外の銀行から

ゆうちょ銀行 店名 ○九九店

預金種目 当座 口座番号 0171298

加入者名 志塾フリースクール「ラヴニール」

一口 3000 円/年 複数口のご応募
大歓迎です

郵便振替の場合、氏名、住所、電話番号、費目(賛助会費として)、通信へ寄付をいただいた方としての氏名掲載の可否(氏名の掲載可、イニシャルの掲載可、不可のいずれか)を備考欄に明記のうえ、よろしくお願いいたします。

○ ありがとうございます ○

nanata さんより、文具、書籍などたくさん譲っていただきました。ありがとうございます！

○ 譲ってください！ ○

現在希望が出ているのは、下記のとおりです。ご家庭にあるもので、現在お使いになられていないものがありましたら、ぜひ、お譲りください。

下記以外にも、フリースクールの活動に役立ちそうなものがありましたら、ご一報ください。

現在希望が出ているもの

クッション、ミシン、プレーステーション2の本体、ソフト。プレーステーションのコントローラ。

…などなど

○ ボランティア募集のお知らせ ○

ラヴニールでは、ボランティアさんを募集しています。ボランティアをするにあたっては、特に必要な資格・学問などはありません。不登校について偏見がなく、子どもと一緒に楽しい時間を過ごしたい、子どもから何かを得たい、という気持ちがあれば、大歓迎です。

ご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

○ ブログ・twitter のご紹介 ○

ラヴニールの日ごろの活動の様子を、ブログで

はできるだけ写真をつけて、twitter ではできるだけリアルタイムで書き綴っております。

ラヴニールに関すること、フリースクール同士の共同でのイベント、会議のことなども、少々ながら掲載しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

ひとこと

最近、昼ドラにはまっています。活動時間中なので、ビデオ録画して後で見えます。昼ドラが好きってわけじゃなく、出てる俳優が好き、それが理由です！ 決してドロドロを好んでるわけでは・・・(ロコ)

最近のマイブーム(ダイエット)は、ご飯前にゴマ油と塩と胡椒をキャベツに揉みこんで、食べるダイエット法です！おいしくて、おなかがふくれますよ！お試しあれ！（ボラ:Y.W）

編集後記

当初4月発行予定が大分遅くなり、申し訳ありません……。ですが、初めての通信作成、楽しませていただきました☆ 日々のラヴニールがどんな活動をしているのか、少しでも興味をもっていただけなら幸いです。

さて、通信を作成するにあたって、ああ、あたしってば本来こういうじみ～な作業が好きなんだなあと、実際にするたびに思います。実は、大ざっぱな性格を自称するくせに、意外(?)にも、文章を考えたりとか(うまいとは思っていませんが)、事務作業とか、そういった積み重ね的なものが好きなようです。

ただ、始めるまでに時間がかかるのが難点ですが……。すみません、言い訳しました。

今後も、このようにラヴニールの日常的な様子や、ラヴニールとして参加したイベントなどを報告していきたいと思いますので、至らぬ点多いかと思いますが、よろしくお願いいたします。

そしていまから、次の通信はどんな通信にしよ
うかな、なんて考えているのですが・・・。

こんなルンルン気分でいられるのも、いつまで
でやら？

志塾フリースクール「ラヴニール」

対象年齢 6歳から18歳
(高卒資格コースのみ20歳まで)

活動時間 月曜から金曜の10時から17時
ただし、水曜のみ15時まで
原則土・日、祝日、年末年始
お盆前後はお休みです
(変更の可能性あり)

入会説明 随時行っております
体験入会期間(2週間)は無料でご利
用いただけます

代表 林 裕子

スタッフ 常勤1名、他非常勤数名

住所 544-0023

連絡先 大阪市生野区林寺2-25-24
JR大阪環状線寺田町駅
関西本線東部市場前駅、
ともに徒歩12分
他、あべの橋よりバスあり

Tel/fax 06(6776)2629
(活動時間外は留守番電話)

e-mail lavenir@view.ocn.ne.jp

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~lavenir/>

twitter <http://twitter.com/#!/lavenir65>

ラヴニール通信「ラヴ・ノート」

発行日：2011年6月 日

発行者：志塾フリースクール「ラヴニール」

発行人・編集：林 裕子
